

令和5年度第1回新潟市新津鉄道資料館運営協議会会議録

日時： 令和5年6月27日（火） 13:30～15:00

会場： 新潟市秋葉区新津地域学園304研修室

参加者： 新津鉄道資料館運営協議会 金山委員、南雲委員、樋浦委員、
奥原委員、関口委員、熊谷委員
歴史文化課 萬歳課長
新津鉄道資料館事務局 高山館長、加藤副館長、岩野学芸員
(以上10名)

傍聴人： 1人

資料配付： 新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙1～7

報告および意見聴取

- 1) 令和4年度入館者数実績報告
- 2) 令和4年度各種事業報告
- 3) 令和4年度アンケート集計結果報告
- 4) 令和5年度事業計画について
- 5) その他

内容

■ 高山館長

ただ今より新潟市新津鉄道資料館運営協議会を開催いたします。本日は傍聴の方がお一人おいでになっています。

当運営協議会を所管する新潟市 文化スポーツ部 歴史文化課 課長にこの春異動がありましたので、新任の萬歳課長からご挨拶申し上げます。

■ 萬歳課長

みなさまこんにちは。本日はお忙しいなか、委員の皆さまには運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この4月に歴史文化課長を拝命した萬歳と申します。高校のとき通学で新津駅には大変お世話になったという思い出がございます。

当館の運営におきましては、令和に入り新型コロナウイルスの感染が拡大するなかで来館者数が減りましたが、その後5月にコロナが5類に指定されたということで少しずつ復調を見せております。平成26年のリニューアル以来、新潟市のなかで多くの県外客が訪れるなど愛される施設になったのも、委員の皆様をはじめ多くの方々からご意見をいただき、応援いただいたおかげです。

去年は、新橋～横浜間に鉄道が開業して150年という節目の年でした。当館でも「新潟を変えた新幹線」と銘打った特別展を開催しました。そして今年は、当館が開館40周年を迎えます。今年の特別展では、鉄道のまち新津 を切り口にご紹介する予定です。

さて、鉄道のまち新津を象徴するもののひとつとして、「SL ばんえつ物語」があります。列車を牽引するC57形蒸気機関車が、クルマでいえば車検を受けている最中で、点検も終わり7月29日からまた運転をおこなうとうかがっています。

こうした鉄道のまちの象徴が再び動き出すなか、当館においても 40 周年に向けた特別展や各種事業の実施していくなかで、JR や総合車両製作所、にいつ鉄道商店街、新津観光協会など各位と連携しながら、新津・新潟の鉄道文化を広く発信し、地域のにぎわいや交流人口の拡大に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。

本日は限られた時間とはなりますが、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、今後の運営に活かさせていただきたいと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

■ 高山館長

本日司会を務めさせていただく、新潟市新津鉄道資料館の館長の高山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の運営協議会の日程ですが、次第に基づき進めさせていただきまして、概ね午後 3 時をめどに終了とさせていただきたいと思います。

なお、本日、野本委員が、所用が先に入っていたため、ご欠席でいらっしゃいます。

では、ここから先の進行は座長の金山先生にお願いいたします。

■ 金山委員

お久しぶりです。金山と申します。よろしくお願いいたします。

さて、博物館法のお話をさせていただくと、昨年 4 月に博物館法が改正され、この 4 月から施行されました。

博物館法の登録制度について、従来の定型的な登録制度から、博物館の質を確保していくための具体的な基準がいくつか示されるようになりました。登録博物館になるためには今後 5 年間の猶予措置がありますが、その間に体制を整えないといけないことになります。

そうした今後の展望を踏まえながら、限られた時間ではありますが、報告を聞いたり、審議があれば意見をいただいたりしたいと思います。

それでは、事務局から、令和 4 年度の報告について説明をお願いします。

■ 加藤副館長

副館長の加藤です。それでは別紙 2-1 令和 4 年度入館者数等報告書（年報）をご覧ください。また 2-2 は令和 4 年度月ごとの数字となっていますので、2-1 とあわせてご覧ください。

別紙 2-1 の 1. 入館者数実績の表ですが、左側が令和 4 年度の数字、右隣りが令和 3 年度、さらにその右が比較数字です。下の 2. 概況にまとめたように、令和 4 年度の入館者数は、対前年度で 2,879 人増の 43,670 人となり、令和 2 年度にコロナ禍で大幅に減って以来、2 年続けて前年度を上回ることができました。人数増の主な要因としては、感染症拡大防止としてとられていた各種の制限が緩和され、人の流れが少し戻ったととらえています。

別紙 2-2 の月毎の数字を見ますと、7 月、11 月、12 月に前年を下回りましたが、年間通しますと前年を上回る結果となりました。

続きまして、別紙 2-3 は、ミニ SL の運行実績です。

当館のミニ SL は 4 月から 10 月までの期間、土日祝日を中心に運行しています。令和 4 年度の乗車人数は 5,375 人で、前年度を 402 人上回りました。

次に、別紙 2-4 令和 4 年度 駅中サテライト いしゃば 入館実績表 です。令和 4 年度の入館者数は 11,455 人でした。レンタサイクルは、1,128 件のご利用がありました。

続きまして、別紙 3 令和 4 年度 新津鉄道資料館事業報告です。件数がいっぱいありま

すので、逐一の読み上げは省略させていただきます。令和4年度は、令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響からキッズコーナー、館内でのお食事を中止としました。

鉄道模型走行会は、感染者数が一段落してきたことから、お客様と実施団体を隔てるパネルの設置をやめ、直接模型を見られるようにしました。また実車公開は、引き続き窓が開き風通しの良い車両を選んで事前予約制として開催しました。令和4年3月からは予約なしで見学できるようにしました。

特別展は、上越新幹線が開業40年を迎えたことを記念して「新潟を変えた新幹線」を開催しました。同展では関連企画として「鉄道まちあるき」とZOOMによる「リモート展示解説会」をそれぞれ開催しました。

また、校外学習や修学旅行での利用に対し、当館展示内容を学校で学ぶことに当てはめて問題としたクイズラリーの提供も引き続きおこないました。以上、令和4年度事業報告でした。

■ 岩野学芸員

別紙4をご覧ください。令和4年度のアンケート結果報告です。回答数は549件で、例年どおり100人あたり2人が書いてくれるというようなペースです。

年代別回答者数は、例年と同じで親子が多いということもあるのですが、40代までの層がまんべんなくいらしているという結果となっています。

来館同行者数は家族連れが多いということもあって2人～5人が過半を占めています。来館のきっかけに関しては、webを見てという方が年々増えています。

アンケートに答えてくれた方という条件が付きますが、住所区分のところ、県外の方は半分になりますし、実感としても県外の方が多く訪れているというのが当館の特徴です。市内では、人口に比して来ていただいているという感じです。来館目的ですが、市内からの方は家族サービスが多く、市外からの方は観光・鉄道趣味が多くなっています。

行ったことのある市内の博物館・美術館施設では、マリニピアが突出し、いくとぴあ、アグリパークなど子供を連れて行ける施設へ行ったことがある人が当館にいらしていることが見て取れます。行ったことのある鉄道博物館・資料館では、例年、鉄道博物館、京都鉄道博物館など大きいところに行っている人が多いということがわかります。印象に残った展示については、新幹線200系・E4系が多くなっています。

このほか記述回答についてまとめたのが別紙です。良かった点の項目数が少ないのですが、内容が重複しているだけで、多くのお褒めの言葉をいただいております。例年どおり観覧料が300円で安いというご意見をいただいております。

そのほか改善点としては、これも例年あるのですが、バス少ないというお叱りをいただいております。あと、施設・展示の更新が少ないとの意見をいただきました。駆け足ですが、アンケート回答に関する分析は以上です。

■ 加藤副館長

令和4年度の報告は以上です。

■ 金山座長

ありがとうございました。委員の皆さん、ここまでのところで、何かご質問・ご感想があ

りますでしょうか。

よろしいでしょうか。何かありましたら、また後でお願いいたします。
それでは、令和5年度事業について事務局説明願います。

■ 加藤副館長

それでは資料の別紙5をご覧ください。

令和5年度事業につきまして、以下報告させていただきます。

これも逐一の読み上げは省略させていただきます。

01 展示公開の部分で9月の部分をご覧ください。

開館40周年を迎える今年、特別展は「鉄道のまち新津」を開催予定です。

昭和58年10月14日、新津市に鉄道資料館が開館しました。前年11月の上越新幹線の開業によって新潟県内の鉄道をめぐる状況が大きく変化したことを受け、鉄道とともに歩んできた新津の歴史を後世に伝える使命がこの資料館に託されました。その後平成の市町村合併を経て新潟市新津鉄道資料館となり、現在に至ります。

新津と鉄道との関係は、明治30年11月20日、のちに国有化され信越本線となる私鉄線「北越鉄道」の駅として開業したことにさかのぼります。以後、複数の幹線が交差する鉄道運行の拠点として新津は発展を続け、それに伴って、新津という都市も成長していきました。多様な交通機関が発達した現在に比べて、鉄道の果たす役割が大きかった時代は長く、また鉄道運行のあらゆる部門に膨大な人手が必要でした。そうしたことから新津は鉄道にかかわる人々が暮らす「鉄道のまち」の性格が強い都市となっていきました。

この特別展では、地域と鉄道との関係を「鉄道のまち」をキーワードに紹介します。鉄道という近代を象徴する交通機関が、地域の歴史に与えた影響について知る機会となれば幸いです。40周年の関連企画として、講演会と拡大版の実車公開を考えております。

次に、上に戻りまして、02 収集・保存および03 調査・研究です。

瀬古龍雄氏資料調査は中間報告というかたちで、平成29年度に引き続き令和3年度の特別展「瀬古龍雄鉄道写真展Ⅱ」を開催しました。同氏ご遺族から貴重な資料をご寄贈いただきましたので、その調査を引き続き行ってまいります。

次に、上に戻りまして、04 教育・普及のところですが、当館にご協力いただいているボランティアの皆様には、令和元年度よりも後は、来館者数が少なく、また感染の可能性もなきにしもあらずということで、ご協力のご依頼を控えておりましたが令和4年度からゆるやかにお声がけさせていただいています。

今年度は、コロナ禍ではずっと取り止めとなっていた「ばんえつ物語号出張講座」が再開となります。JR東日本さんの「SLばんえつ物語」は、昨年より牽引機である蒸気機関車の点検、クルマでいえば車検に相当するものがあり、運転を休んでいましたが、7月29日から運行とのことです。

これにともない、当館が協力して実施している出張講座を8月から10月まで3回実施する予定です。

05 その他です。にいつ鉄道まつり、正式には「にいつまるごと鉄道フェスタ」は、総合車両製作所・新津事業所の一般公開日にあわせて、JR新津駅、新津運輸区、新津観光協会、新潟市秋葉区、商店連などが連携し、同日に鉄道関連イベントを集中開催することで、鉄道のまち・にいつを発信する日となっております。当館はこの日、特別展開催中であり、関連

企画としての拡大版実車公開を予定しています。

このほか、にいつ鉄道商店街（鉄ぶら散歩抽選会）は、JR 新津駅、にいつ鉄道商店街、新津観光協会、区役所などが、まちなかのにぎわいをつくろうと実施しているもので、今年も参加・協力の予定です。

そして、繰り返しになりますが、10月14日が、当館の開館記念日に当たります。

令和5年度の事業については、以上のとおりです。

■ 金山座長

どうもありがとうございました。令和5年度の事業についてご質問、ご意見はございますか。はい、南雲委員どうぞ。

■ 南雲委員

クイズラリーのお話がありましたが、館内だけですか？どのようにやるのでしょうか？

■ 加藤副館長

クイズラリーは今年で3年目になります。以前はスタンプラリーをやっていたのですが、コロナ禍でクイズに変更しました。1年目はまちなかも巡っていただきたいことから観光案内所もクイズポイントにしたのですが、お客様から「遠い」の声を多くいただいたこともあって、2年目からは館内のみを巡るようになっていきます。まちなかへの誘導は引き続き課題であると認識しています。

■ 南雲委員

新潟日報さんがメディアシップで謎解きなどをよくやっていますが、スタンプだけでなく知識を持ち帰れるというこうした取り組みは良いと思います。一部有料でもいいから、商店街、商店街がむずかしかったら駅も巻き込んでできたら良いなと思います。

■ 金山座長

ほかにいかがですか？ 熊谷委員どうぞ。

■ 熊谷委員

前は7月の海の日などの三連休の時期にイベントがありましたが、今は秋の鉄道の日関連のみになったのでしょうか？

■ 加藤副館長

令和元年までサンクスフェアを7月に開催していましたが、令和2年に行財政改革とそして新型コロナウイルス感染症の拡大があり、三密になるようなことができなくなり、一旦取りやめとなりました。一旦やめると再開はむずかしいというところです。秋に「にいつまるごと鉄道フェスタ」が一斉に開催されますので、おまつりとしての意味合いは秋に集中させ

たかたちになっています。7月の三連休については、この後ご説明させていただきます。

■ 金山座長

ほかにいかがですか？ 樋浦委員どうぞ。

■ 樋浦委員

SL ばんえつ物語号出張講座では、どなたがお話されるのですか？

■ 岩野主査

往路・復路とも五泉～津川間で私がお話しています。

■ 高山館長

では、私から。5年度の事業計画をお聞きしたところ、コロナ前の状況に戻ってきた感じですが、いかがでしょうか？

■ 高山館長

ボランティアに関しては、コロナでだいぶ出番が減ってしまった状況です。

■ 金山座長

従来からの人に加えて、新たな人の掘り起こしもするといいですね。広報の仕方を工夫すると良いのではないかと思います。

次に資料の収集・保存のところですが、博物館法施行規則の改正により、資料の保管登録について目録作成が、博物館登録基準のひとつに組み込まれました。瀬古さんの資料など進捗状況はいかがでしょう？

■ 岩野主査

止まっていない、という程度です。活用は意識していますが、体系的な活用はない状況です。

■ 金山座長

いきなり活用ではなく、まずは資料の登録・整理をしてからということになります。そのあたり人的な対応はいかがでしょう？

■ 岩野主査

閑散期に対応するといったもので、レギュラー担当者はいない状況です。

■ 金山座長

他館では、コロナで休館となった際にそうした登録・整理に力を振り向けたという例も聞きます。もっともコロナ前に戻ってまた手薄になったということも聞きますが。

資料の登録管理は、博物館運営の基本中の基本にあたる部分です。アルバイトでもいいので、そして行き詰まらないよう 2 人以上の配置が理想で、学芸員の指導のもとで資料の登録・整理を進めていただきたい。博物館では、展示されているのは1%で、残りは収蔵資料として普段目に触れないものになっている。これら収蔵資料を活用しようという考え方が法改正の背景にある。いろいろな事業をするのもいいけれど、博物館本来の姿は、まずはコレ

クションをきちんと管理することにあるので、それが逆転しないよう検討していただきたいです。

それでは、まだ先があるようですので、事務局からその他についてご説明をお願いします。

■ 加藤副館長

では、別紙 6 としまして、今年度のここまでの状況などについてご説明させていただきます。

コロナ禍で入館者数が激減した令和 2 年以降、令和 4 年度まで順調に入館者数が回復してきましたが、ここにきてブレーキがかかってきたという感があります。

また、この 4 月から、当館の近くを通る新潟交通観光バスの路線で土日祝のバスが運行されなくなったことについて、お問い合わせや不便になったとのご意見を多数頂戴しています。入館者数が伸び悩むことの対応としまして、コロナ禍以来、幼稚園・保育園施設や小学校などへのチラシ配布をやめていましたが、それを再開します。7 月中旬から 8 月いっぱいまで中学生以下が前日無料になりますので、それをお知らせしたり、7 月末から SL ばんえつ物語が運行再開することのお知らせ、加えて三連休の中日に実車公開日を追加して開催することなどを盛り込んだチラシを作成し配布したりする予定です。

あと、開館 40 周年のイベントにつきましては、ひとつに特別展「鉄道のまち新津」を開催しますし、記念講演会も開催します。また開館記念日当日は実車公開を行うという 3 点で考えております。

以上、その他としまして、今年度に入ってから傾向についてお伝えさせていただきました。

■ 金山座長

ここまで事務局側からの予定は終わりましたので、全体的な部分も含めて委員の皆様から何かありますでしょうか。そでは、奥原委員をお願いします。

■ 奥原委員

昨年度、鉄道開業 150 周年にあたっていましたが、そういう関心をお持ちのお客様は多かったという感じでしょうか？

■ 高山館長

ざっくりと言え、鉄道開業 150 周年よりも上越新幹線開業 40 周年の方が、新潟では関心が高かったのではないかと、という印象です。

■ 奥原委員

昨年は、鉄道開業 150 年でメディアへの露出が多く、私自身も 4 回 NHK に出ました。関心は持っていただいたものの、それが博物館などの入館者数にどの程度つながったのかな？と疑問を感じていました。

鉄道博物館では、令和 2 年度はコロナ前の 4 分の 1 に相当する 23 万人、令和 3 年度で 44 万人、令和 4 年度で 63 万人と入館者数はだいぶ戻ってきたところです。今年度のゴールデンウィークは 6,000 人を超えた日が 3 日あり、体験展示も従前のようにできるようにしています。当館にもボランティアさんがいますが、JR の OB で年輩の方も多くコロナを理由に辞められた方もいらっしゃいます。

先ほど金山先生からも資料の管理についてお話がありました。地味で後手に回りがちな仕事ですが大事な仕事です。当館で昨年度鉄道による旅の変遷を取り上げた企画展を開催した際、自館の収蔵資料にだいぶ助けられました。個人の資産家方が亡くなったのち一括して寄贈していただいた資料なのですが、明治時代の乗車券や旅にまつわる資料など、もともとある程度整理されていたというのがありますが、10 年以上かけて整理をしてきたおかげで、展示に活用することができました。

■ 金山座長

ありがとうございます。続きまして、関口委員をお願いします。

■ 関口委員

鉄道資料館への交通アクセスを心配に思っています。レンタサイクルがあるとのこと意見もあろうかと思いますが、雨天時や冬期のことを考えると補えない部分も出てくるのではないかと思います。特にお子様連れの方にとっては不便になると思うので、資料館の HP やパンフレット、チラシなどでバスダイヤに関する情報を表示してもらおうと良いのではないかと思います。

■ 金山座長

ありがとうございます。関口委員からの意見について事務局は何かありますか？

■ 高山館長

ご指摘のように土日祝の新潟交通観光バスの便が全てなくなり苦慮しているところです。館内でもいろいろ検討しているところですが、タクシー会社さんとも何かできないかと考えています。

■ 金山座長

新津美術館の方の路線バスはあるのですか？

■ 高山館長

そちらも土日祝日はありません。(→新潟交通観光バス のこと。新津美術館は区バス有)

■ 金山座長

コミュニティバスみたいなのはどうでしょう？

■ 加藤副館長

こちらでは区バスというものがありますが、すぐに路線を増やしてという対応ができない状況です。地域によってはコミュニティバスを運行している地域もありますが、鉄道資料館の方面ではやっていません。

■ 岩野主査

現在の区バスのルートは秋葉の丘陵地帯の西側中心に運行しています。

■ 金山座長

そうですか、状況はわかりました。では、熊谷委員どうぞ。

■ 熊谷委員

休日の路線バスがなくなったことが、来館者数にも影響しているのではないかと感じています。以前は夏休みなどにマイクロバスを動かしていたこともあったような気がするのですが。また、車内アナウンスを小学生のお子さんの声で放送するので、親御さんたちがそれを聞きに乗車するというような話を聞いたことがあるのですが、いかがでしょうか。

■ 加藤副館長

区バスで、そのような車内アナウンスの取り組みをやったことがあると聞いています。

鉄道資料館が、区のマイクロバスを借りて、循環バスとして運行していたこともありましたが、今はそのマイクロバスもないので運行できません。運行していた当時も利用者数が多いかという、それほどでもありませんでした。今、こうして土日祝日の路線バスが大幅減便となった状況下ですので、そうしたバスをご用意できればご利用いただけるのかもしれませんが、何せ前のようなマイクロバスは無く、かといって貸し切りバスを借りる予算もないため、苦慮している状況です。

■ 金山座長

よろしいですか。それでは、樋浦委員どうぞ。

■ 樋浦委員

商店街としてはたくさんの人に来ていただきたいという思いがあります。

10月に全国の商工会議所の女性会の全国大会が朱鷺メッセで開催されるのですが、大会後のエクスカッションで県内の観光地を見ていただくことにしていて、新津商工会議所女性会としては新津鉄道資料館をコースに入れるよう要望しています。

ただ見るだけよりも、解説してもらいながら見ると、関心を持ってもらえるのではないかと思います。

私は、新津駅から鉄道資料館までの途中に住んでいますが、自転車の保険などの問題があるからなのかもしれませんが、自転車の通りが少なくなったように感じています。歩いている人もちょっと少なくなったように感じています。

■ 高山館長

レンタサイクルの貸出数は、昨年は一昨年よりも増えている状況です。自転車の保険は入っています。ヘルメットも準備して、着用をお願いしています。

ただ、レンタサイクル貸出数についても、今年に入ってちょっと少ないというのが実情です。また例年6月は少ない状況です。

また、商工会議所女性会の全国大会で当館をご案内いただき、ありがとうございます。

■ 金山座長

それはいつあるのですか？

■ 樋浦委員

10月の5・6日の予定です。

■ 金山座長

あとは解説する人がいれば。

■ 高山館長

日にちが確定であれば、こちらで対応させていただきます。

■ 金山座長

それから、自転車は鉄道資料館へ来るのが前提となっているのですか？

■ 高山館長

いえ、Akiha 観光案内所で貸出の自転車は目的地を限定していません。協力金 100 円をいただいています。

■ 金山座長

予算はここの予算なのですか？

■ 加藤副館長

レンタサイクルは前と枠組みが変わりまして、以前は鉄道資料館で自転車を用意してお貸ししていましたが、数年前に国の補助金を使って商店連が新しい自転車を購入し、その自転車を観光案内所で協力金をもらって貸出するというかたちに改めました。

以前は行先が当館に限定されていましたが、新しい枠組みでは Akiha 観光案内所で貸し出す自転車であり、区内のほかの観光地へも自転車のニーズがあるということで、行先を限定しないことになりました。

■ 金山座長

なるほど、いろいろあるんですね。わかりました。では、南雲委員どうぞ。

■ 南雲委員

商工会議所女性会のセールス、すばらしいと思います。お土産もいっぱい買っていただける方々とうかがっていますので、ぜひ売店の充実もお願いしたいところです。私もエクスカッションを担当させていただくので、楽しみです。

やはり知らないところには人は来ないので、今一度プレスリリースを一生懸命やりませんか？というところです。

新潟のテレビ局の番組審議委員を務めていまして、今月、タレントさんが新津鉄道資料館と総合車両製作所を見学するという内容の番組の審議がありました。このくらい的人数で審議をするのですが、審議委員の皆さんから出た意見は、「新津が鉄道のまちであることは知っていたが、そこまで充実した施設があることは知らなかった」というものでした。

Instagram には、「超マイナーな博物館」「いつもがら空きで（シミュレータは）運転し放題」「そして安い」と出ているのを見つけました。知らないところに人は来ない、という観点から、発信について見直してみたらいかがでしょうか。

■ 岩野主査

アンケートでは、現在HPとSNSを明確に分けてはいません。今後、そうした区分も必要と考えています。

私は SNS の中でもっと細かく分けても良いのではないかと思います。観光業では今 Instagram が注目されています。それは、Twitter や Facebook に比べてハッシュタグによる

検索機能が充実しているからではないかと思います。

地方のテレビ局では、今テレビ離れが問題になっていて、地域貢献に力を入れています。今年は 40 周年になるのだから、プレスリリースをしつこいくらいに発信すれば取り上げてもらえるのではないかと思います。新しい、記念、季節、子供、のネタはテレビが大好きなので、ぜひ活用してください。

それから、お客さんの数が少ないのは、ここに魅力がないからではなくて、コロナが明けてイベントや旅行など行先の選択肢が一気に増えて、いろいろなところに散らばり、薄まっている状況と捉えています。

二次交通のアイデアですが、地元のタクシー会社と連携して、とはいってもタクシー会社は体質が古く頑ななところもあるかもしれませんが、シゴナナラッピングタクシーとか提案してみたらいかがでしょうか？ ダメだ、ダメだは新津らしくないのですし、お金がなければアイデアを出せばいい、バスがダメならタクシーを使って、それが地域の活性化につながるなら良いのではないかと思います。

■ 金山座長

それでは、私から。鉄道のまちという切り口は開館当時のここのミッションですよ。商店街との連携では、オリジナルのグッズを開発して、資料館と商店街のお店に置くことで、お互い WIN&WIN の関係を目指していましたが、最近はどうなんでしょうか。樋浦委員、グッズの開発とかどうでしょうか？

■ 樋浦委員

今年、商工会議所では、秋に開催している飲み歩きイベント「にいつナイトステーション」を盛り上げようと今から力を入れています。6 月は「あおぞら市場」という歩行者天国イベントを本町通りでやりましたが、3 千人くらいお客さんが集まったそうです。そういう人がそのまま資料館にも来てくれれば良いのにと感じていました。その後のグッズでは、商工会議所青年部が SL をかたどったお菓子を開発したのですが、一店舗でしか置かれていない状況です。

■ 金山座長

まちの盛り上がりが当初に比べて少なくなったという感じがしています。こうした地方の資料館は地元の盛り上がりや支援がないと成り立たない部分があるので、そうした連携を見直すことも必要かなと思います。

■ 高山館長

当館の売店は、売り場面積が限られています。拡大したいところですが、本来の展示スペースを減らすわけにもいきません。商店連さんからは品物の入れ替えをするなど努力してもらっています。

■ 金山座長

そうやって話し合っていくことが大事かと思います。

それからマスコミへのプレスリリースの話もありましたが、パブリシティの効果について数字を今一度しっかり出したら良いのではないかと思います。

そのように数字をちゃんと出して費用対効果を明確にできれば、今後資料の整理・調査で

人件費が必要となったとき、これらの数字があれば財務部門との折衝がしやすくなると思うのです。財政状況が厳しいときは査定も厳しいので、そうした必要性を補強する資料を出しておくことが重要かと思います。

繰り返すようですが、資料の整理は本当に大事です。それがないと、今展示されているものと、整理された一部の資料しか使えなくなってしまう。ドキュメンテーションが整理されていないと資料にならず、ただのモノになってしまうのです。瀬古さんの資料もそうです。ご本人は亡くなられてしまいましたが、今なら瀬古さんの資料について記憶のある人から聞き取ってちゃんと記録しておくことができます。ぜひ、進めてほしいと思います。

では、お時間となりましたので、特になければ、進行を事務局の方へお返ししたいと思いますが、よろしいですか？（一同異議なし）

■ 加藤副館長

すみません。1 か所訂正をお願いいたします。資料の別紙 6 開館記念日を 10 月 18 日と書いていましたが、10 月 14 日の誤りでした。

■ 高山館長

みなさま本当に貴重なご意見、課題等頂戴しましてありがとうございました。また、座長におかれましては、議事進行ありがとうございました。今日の内容につきましては今後の運営に活かしてまいる所存であります。またなにかありましたら、ご意見等お寄せいただければ幸いです。以上をもちまして令和 5 年度第 1 回新潟市新津鉄道資料館運営協議会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。